

# 会 議 録

## 1 会議名

令和3年度第9回直江津区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### 【報告事項】

- ・「地域協議会に関する意識調査」結果を受けた取組について（公開）

### 【自主的審議事項】

- ・直江津まちづくり構想について（公開）

## 3 開催日時

令和3年9月28日（火）午後6時30分から午後7時28分

## 4 開催場所

上越市レインボーセンター 多目的ホール

## 5 傍聴人の数

1人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委員： 中澤武志（会長）、青山恭造（副会長）、田中美佳（副会長）、  
磯田一裕、今川芳夫、久保田幸正、坂井芳美、田中 実、田村雅春、  
古澤悦雄、増田和昭、水島正人（欠席者6名）
- ・事務局： 北部まちづくりセンター：小川係長、千田主任

## 8 発言の内容

### 【小川係長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

### 【中澤会長】

- ・挨拶
- ・会議録の確認：田村委員、水島委員に依頼

議題【報告事項】「地域協議会に関する意識調査」結果を受けた取組について、事務局へ説明を求める。

【小川係長】

地域協議会に関する意識調査は、令和2年4月までの前期の委員を対象に、令和元年度に実施し委員活動を振り返っていただきながら、それぞれの委員の率直なご意見やお考えをお聞きしたものである。調査には委員の8割を超える313人から回答をいただいた。その後、自由記述を含めてすべての内容を確認しながら1件1件を趣旨ごとに区分集計し、調査結果を取りまとめた。今年の3月に前期と今期の委員の皆様を集計結果をお送りした。このたび、本調査によりいただいたご意見をもとに、今後の地域協議会の運営や活動に必要と思われる改善取り組み項目を整理したので、お配りした資料をもとに説明させていただく。

- ・資料No.1『「地域協議会に関する意識調査」結果を受けた取組について』、資料No.1-2『「地域協議会に関する意識調査」結果を受けた取組について（各地域協議会において取組を検討する項目）」に基づき説明

資料で空欄となっている「今後の取組：直江津区としての取組」について、次回以降検討いただきたい。

【中澤会長】

説明に対し、質疑を求めるがなし。

次回以降、意識調査結果の冊子を持参してもらい、それを参考にしながら協議をしたいと思う。会議の進行の仕方と元気事業は、話し合いが必要かと思うので深めていきたい。

次に、【自主的審議事項】直江津まちづくり構想について、事務局へ説明を求める。

【小川係長】

9月18日に予定していた視察研修は、台風の影響を考慮し中止させていただいた。

事務局案として、10月23日（土）午前中を提案したい。また、視察先は、うみまちアートが終了したため、福島城の資料館と三八朝市だけとなる。ほかに追加するところがあるかも併せてご協議いただきたい。

【中澤会長】

事務局案の日程とし、行き先にライオン像のある館を追加したいと思う。

【水島委員】

地域協議会委員を1年ほどやらせていただいて、非常に残念に思うことがいくつかある。もう少しフランクに話すことはできないのか。非常に重たい空気の中で、市役所の中で会議をやっているような状況で話をしなければいけない。間違っただけを言っただけでいけないとか余計な雑念がはいて、なかなか発言しにくい。マイクをとおして録音されていると余計違和感がある。これをまず何とかできないのか。それから、時間内に終わらせなければいけないのはよくわかるが、もし協議会の中で今後のことに役立てるような意見が委員の中から出てきたとしたら、少しぐらい時間を割いて協議しあうのはどうか。せっかく出席しても、何も言わないで帰るのは非常に寂しい。せっかく皆さんで集まるのだから、私が今言ったようなことができるのか、できないのか協議願いたい。

#### 【増田委員】

水島委員から、自由に発言できないかという話があったが、このマイクで手を挙げて発言すること自体が緊張させている。いろいろ論議があって、こういう結論になったという議事録のまとめ方をすると、いちいちマイクで発言しなくて良いので、考えてみたらどうか。前の任期の時に、そういうことをやったことがある。かなり盛り上がったので、それも一つの方法だと思う。

発言についてだが、発言のない人に聞いてみると「あの人が言っていることと同じ意見だから、あえて発言する必要がない」という方がいる。それはそれで良いと思う。もし、この場で発言されている論議、あるいは、ある人が発言したことに関して、難しいことを言ったときに理解できない。その時に「それはどういう意味ですか。よく理解できません」と自由に意見をいつでも入れていただいて良いと思う。水島委員がおっしゃったように、わからないままに、いろいろなことが進んでいくのは一番まずいので、皆さんが十分納得した上で進むのが基本だと思う。わからないことがあれば、「それちょっとわからないので、教えてください」と発言していただければ、知っている人が細かく説明するようにすると、皆さんが同じレベルになると思うので、そのようにやっていただければいいと思う。この資料の中に「会長は、全員が発言するように指名する」と書いてあるが、それをすると各委員はとてもプレッシャーになる。そういうプレッシャーを与えるようなことはしたくないので自発的にわからなかったら、わかりませんというふうな雰囲気を進めていったらどうかと思う。

#### 【田村委員】

多様性のある人たちが集まっているので、いろいろな角度から、その問題について意

見を出せると思う。私もいろいろな立場で話をしても、事前にきちんと本読みはしてくる。それで、発言するので、もしわからなかったら、皆さんにどういう知見か聞いている。私もわからないことがたくさんある。多種多様な意見を尊重し合いながらやっていて、雰囲気は結構良いと思う。

**【古澤委員】**

会議に出た以上は、皆さんから発言をもらうのが会議のあり方と思っている。ただ、今の段階でわからない部分等があったり、あるいは、専門の方が持ち時間のうち大半を話しても結構である。しかし、皆さんのことを考えながら、次の人に発言を求めるといふ形に持っていかないと、どんどんしゃべってしまうと、しゃべらない方が気後れしてしまうと思う。そういうことも鑑みながら、例えば自分に5つ意見があったら肝心なことを2つにまとめて話す。その中でまとめていくというのが私なりのスタイルで今までやってきた。皆さんの意見を引き出し合いながら、一つのものを目指していくというのが大事になってくるのではないかと思うので、全体的なバランスを考えながら会議を進めて、一人一人が意識をしながら、そのテーマに沿って、話し合おうという気持ちを持っていけば良いと思う。

**【中澤会長】**

直江津区だけで、議事録の明記の仕方を変える、マイクをなくすということはあるのか。

**【小川係長】**

要約的な会議録でも可能ということになっている。

**【中澤会長】**

それであれば、一人一人がマイクをとおして発言しなくても良いのか。

**【水島委員】**

マイクをとおすのは、録音のためである。細部にわたって記録をとりたいので、そのために録音する。声の低い人高い人いろんな声があるので、同一にするためにマイクをとおしているというお話だったと思う。

**【小川係長】**

今は会議録の形式を、発言内容をある程度要約しながら、発言を誰がどう発言したかを記載する形式にしているので、会議録支援システムをとおして発言していただくようお願いしている。

### 【古澤委員】

以前、二つに分かれて話し合おうかというような話があった。まずそこから始めていても良いのではないか。そこから始めることによって、皆さんの中で全体の意見が出てくるかと思う。それは議題によっても違ってくるかと思うが、会長の判断の中でメンバーを決めていただいて、その中でまとめたものをお話するというような形で試行的にやってみたらどうか。

### 【久保田委員】

マイクの件が出ていたが、この会議は会議の結果を公表している。皆さんに正確に伝えていくためには、やはりマイクをとおしてもらったほうが、確実に記録できると思う。私は、マイクなしでお話されるとほとんど聞き取れない。マイクをとおしても聞きとりにくい部分が結構あるので、ぜひマイクはとおしていただきたい。

意見交換については、現在も他団体と意見交換会をやっているときには、古澤委員からも意見があったが、グループ分けして、ざっくばらんに話し合いをしているので、議題によっては、そのような形でお互いの意見交換することを考えていけば良いと思う。

### 【中澤会長】

「会議時間が2時間を保証してほしい」という意見を出している。現役のころの会議は、大体2時間やっていた。だから、そんなに遠慮しなくてもしゃべれた。いつの間にか効率ということが優先されて、1時間以内に時間が設定されているので、ここで目標時間を言うのが心苦しい。時間があれば、いろいろな方から意見がまだまだ聞けるかと思う。

### 【田中美佳副会長】

意見を聞いて、疑問を持っていたり、おかしいなと思うこともあるが、まとめて話ができなかったり、聞きたいと思っても、なかなか難しいところもある。発言をしないからと言って、聞いていないわけではなく、意見を聞きながら、そういうことだったのかと思うことがとても多い。そういう方もいらっしゃるかもしれないので、あまり意見、意見と言われてしまうと、萎縮してしまって居づらくなるので、大目に見ていただきたい。

### 【磯田委員】

議事録のまとめ方の中で、結論的なことだけを書いてという話もあるかもしれないが、どういう議論を交わしたのかというプロセスが残らないと直江津区はどういう議論をし

てきたかがわからないと思う。やはり、議事録の形式としては今の形が良いと思う。

それから、先ほどの水島委員や会長の意見にも私は大賛成で、2時間でも3時間でも話し合えば良いと思う。例えば、一つの問題に対して、ちょっとわかりづらいとか、あるいは、発言しづらいときに、ワークショップ的な感じで、3つの班ぐらいで一度やって、抽出してきた意見を全体会議で出す。これについて、みんなが共有する。それぞれの班でやり始めると、それぞれの班の細かな話が、他の班の人にはわからなくなってしまって、結論だけになるが、そこでどう議論のプロセスがあったのかも、他の班の人のことは聞きたい。それぞれの小さなグループでやったとしても、それを全体で共有するような形は作ってもらいたいと思う。そう考えていくと、もう少し時間が長くて良いのではという話にもなるかと思う。全部が全部そういうやり方でなくても良いと思うので、皆さん、自主的に応募して地域協議会委員になっているので、少なくともその辺をやる意識はおありだと思うので、あまり時間にこだわらなくても、私は良いと思う。

#### 【中澤会長】

他の皆さんからも一言ずつ思うところをお聞きしたい。

#### 【今川委員】

自分の頭の中で、一応整理はしてはいるが、発言されている方の趣旨が伝わってこないときもある。できれば、自由に意見をいえる場があると皆さん気楽に発言はできると思う。意見交換会とか、そういう場が今までも何回かあったが、そういう場がないと自分に力が入ってしまって、自分で何を言っているのかと思うときもある。

#### 【坂井委員】

正直に言って、私よりも皆さん難しく言っているので、それに対して何か意見はまず言えない。考えれば、やはり同じようなことだなと思っているので、発言しないことが、何も考えていないことではない。やはり時間は限られているし、申し訳ないが、例えば、毎回3時間だとしたら、明日も仕事なのでとても憂うつになる。会議は長時間やっても、結果はそんなに変わるのかと自分も今まで会議をしてきて思っている。それなりに皆さんの意見で、すごく納得しているので、あまり意見、意見と言われても、うまくまとめて言えないし、憂うつになってしまう。皆さんの意見を聞かせていただいて、すごく参考にさせていただいているので、あまりプレッシャーをかけないで欲しい。

#### 【田中実委員】

私が、地域協議会に入ったのは、直江津のまちづくり構想は、良いことだと思い参加

させてもらったが、私の考えているまちづくり構想とは離れた話し合いをされている。私はまちづくり構想といえば、やはり短時間で勝負するまちづくり、時間かけてやることも大切だが、短時間で勝負することは、一番まちづくりに対して手っ取り早いのではないかなという考えで他区でやってきたので、実際入れていただいて、皆さんの話を聞いていないわけではない。ちゃんと聞いて、自分は自分なりの理解はしているが、余りにも私の考えているまちづくりとかけ離れたことを議論なされているので、余計なことを言わずに黙って聞いているしかないと感じている。

#### 【中澤会長】

この話は次回以降も続けるが、話し合いの方向が、どの辺がどのように違っているのかだけでも教えていただければありがたい。

#### 【青山副会長】

雑談でもしながら地域協議会のあり方を話す機会があれば、もう少し違った方向に向くのではないかと考えている。

発言する際に上手に話そうとしなくても良い雰囲気づくりが、一番大事なのではないか。

本年度の採択事業追加募集分も終わったが、提案者から何か意見が寄せられているのか。こちらからの条件を提案者に伝えてもらったと思うが、その後どうなったのか報告をお願いしたい。

#### 【小川係長】

提案No.2「府中八幡宮の歴史文化財の発信事業」は、提案団体から、<sup>しゃくだに</sup>笏谷石の柱を提案があった軒下のほうに据えたまま展示するという形で検討しているという報告をいただいた。

提案No.5「直江津地区ひとり親家族緊急支援事業」は、採択時の条件どおりで実施するというので、補助金の交付申請があった。

#### 【中澤会長】

次に「その他」について意見を求める。

#### 【磯田委員】

9月26日にレインボーセンターでおひさまパントリーがパントリー事業をやるという情報は、北部まちづくりセンターに連絡があったのか。情報が入っていたのであれば、委員の皆さんに、その情報だけでも教えていただければよかったと思う。

【小川係長】

情報は入っていた。今後、お伝えしたいと思う。

【中澤会長】

今後の日程等について、事務局へ説明を求める。

【小川係長】

- ・次回地域協議会：10月26日（火）午後6時半から

【中澤会長】

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 北部まちづくりセンター

TEL：025-531-1337

E-mail：hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。